

■座談会■

貿易自由化を迎えてハイカラ神戸っ子が語る

神戸と舶来品



渡辺さん



芦原さん



高須さん



小林さん



竹中さん

▼出席者

ゲスト
芦原博之 (詩)
高須康雄 (元町バザー)
小林延光 (元町バザー)
竹中郁人 (詩)

唐物屋と呼ばれた当時の
洋品雑貨店

——いよいよ貿易の自由化ということで、外国商品がより豊富に出来まるわけですが、神戸は舶来品とは早くから馴染が深く、從つて舶来品愛好家も多いと思うのですが、舶来品輸入当初の頃の話からはじめていただきましょうか。

小林 神戸と横浜にレンクロフードという店があつたんですねが、レンクロフードが道を開いた神戸ですから輸入品を見る眼をもつた人や、戦前からのファンが多くつたし、東京からも買いに来てた位ですから歴史は古いわけですね。サノへさんところは唐物屋ですね。

芦原 うちちは洋品雑貨類を売つてましたので唐物屋と言われてまし

た。大体洋品雑貨店の前身は、こ

の呼び方で、年寄った人の方がよう使うた呼名です。おまえとは唐物屋やそうやけど、何て読むんや、サノへかへノサか、舶来読みしたらへノサになるな言われてからかわれたもんです（笑）

小林 昔の唐物屋は今のように豪華なものもんやなかつたですよ。バイ

レイのカミソリの刃いうてもマルゼンへ行かんとなかつたし、ジレットにしてもレンクロにしか置いてなかつたいう風にね。今はそんなもの道端でも光つてゐるでしてこんなにいろんなものがフリーに入つてくるというのは驚異ですな。

戦前の方が舶来品にかかる課税率は高かつたですよ、奢侈税いう分ですな。十割もかかるでたんですから、そんな高値なものを買うたいうことでとても大切にしました

な。結局その頃の舶来品のイメージというの、日本に全然ないバリのレインコートとかバンビューゼンのカラーなんかでして

芦原 そうそうあのカラーは今でもちつとも型が変わつませんねえ。まあ、雑貨屋で古いのは丹波屋さん、山中屋さん、レンクロフードぐらいでしうね。レンクロフ

ードは英國の植民地にはたいていあつた商会ですが。

高須 婦人服の方は小野さん、めぐりさん、それから大丸前のミサワさん、レア商会と私とこがまあ

古いですね。やはり舶來もんはよろしいですか。

小林 ニュートンさんとことレア商会がまあ日本の婦人服の草分けでしうね。やはり舶來もんはよろしいですか。

高須 そりやあ、国産品もだんだ

んよくなつて来ますけど、やはりそれ以上にあちらのものは色々な服地の風合といふ点で優れてる

と思ひますな。

竹中 たしかに外国品を輸入するということは日本製品のレベルを引き上げるための刺激剤ですな。

こりや、やつぱり外国品に負けまいとする紳士の気性やな。だから単に舶来品を消費するというだけじゃなくて、こういう見方をする

ということは日本人のいい面でいふとては他所から輸入せん限り進歩はありませんわ。

実際こんな極東の端っこにおって他所から輸入せん限り進歩はありませんわ。

柴田さんの方はいかがですか紳士服のジャンルでは。

渡辺 最近割合によく輸入されるのですが、それでも国产の毛織物に對して〇・八%程度なんですね。

一〇〇人に1人の割以下ですね。値もかなり安くはなりましたがまだこれからです。モヘヤ、ツイード、カシミヤなど国产では追いつけないものもすい分ありますし、もつと普及するでしようね。

竹中 私のおやじが当時でいうハイカラ好みでして、柴田商店さんで子供の頃服を眺めたもんで子供の時分は洋服が嫌いで嫌いで、派手なチエックのハンティングコート言うて、獵の時の服ですわ。それが始めて作つてもううた洋服でしたが、小学校三年生やつたかな。派手な大きい格子ですね、学校へなんか着て行けたもんじやなかつた（爆笑）

小林 あの頃、変つた風して学校へ行つたらよういじめられたもんですねえ。私も皮靴はいて行つて泣かされたことがありますわ（笑）

竹中 僕は子供の頃、かん性病み

でね、あの服はスコットチャットから固いでしょ、襟がぐつと下ると毛がくしゃくしゃして肌をさすん

ですよ、そんで涙ボロボロ流したことありますよ。そこで柴田さんへ行つて、とうその襟にピロードをつけてもらつた。

芦原 私らの子供の時分いましたら、洋服地はほとんどがスコット系統のガチッとしたもんです

竹中 大人になつてからはじめてこしらえたのが夏服でね、ねずみにあめ縞の上着に白のスラックスやつた。何やテニスにでも行くよたら金がかかるでしよう、それで夏に洋服入門いうことにしたん

渡辺 まだこれからです。モヘヤ、ツイード、カシミヤなど国产では追いつけないものもすい分ありますし、もつと普及するでしようね。

竹中 今は三揃いはへりましたなあ。昔は嫌でも三揃いでしたけど。しかし考えてみると今でも、職業によつては着てもらった方が威儀があつてよろしいな。

小林 そうですね。そういう職業の人にはトレーディングマークですからねえ。やはり自分のトレーディングマークを持つことは必要ですよ。野球の解説の小西得郎さんは実におしゃがうまい。お金を持ちあわせていない時でも舶来品の高いのを買ったがる人で（笑）テレビ出

演の時には服とかネクタイとかよく考えて着てますわね。この人なんかもいつも彼らしい服装をこなしてゐるから、立派なもんですよ。

芦原 竹中先生もいつもいいセン

スのもの着てはりますな。スポーツといふのかラフといふのか。

竹中 いや、別に頭のつべんからつま先まで舶来づくめやいうことないんですがね。何で舶来品買おうかというと第一に外国品に対する好奇心です。第二に自分の経済力の範囲で舶来品を使って楽しむ好奇心です。

生活に何かプラスにならんようなもんを買うのは馬鹿気ますよ。日本はなんといっても後進国だつたというコンプレックスがありまけど、盲目的な舶来品礼讃は感心できることですし、貿易自由化というこの機会に、国民全部がそういう良識を身につけられたら貿易自由化大歓迎、日本の経済も健全ということですがね。

昔と型の変らない

英国の紳士服

竹中 紳士服はやっぱり英國の伝統ですな。うちのおやじの着てたオーバーなんか、戦争中まで残ってましたけどね、チャーチルの着てたあのデザインと同じで裾は切りっぱなし、生地がたいへん部厚うてそれに重とうて重とうて。

渡辺 今は織り方も進歩しますし、軽くなりましたが、オーバーでも重いものは売れなくなりましたね。

竹中 イギリスという国の気候を考えるとあの部厚い密な織り方の服地は当然です。あの濃霧や雨を通さんためには……日本人は三〇〇年前まで絹や麻を着てたんですよ、風邪も引かんとね。

芦原 私のおやじの作ったインバネスいうものあるんです。スコ

ッチ系の固い生地で今でも虫も食わんと残ってるんですよ。

小林 特に英國のものはデザインはあまり変わりませんね。たとえばバンヒューゼンは織り方そのものがパテントになつていて襟型いろいろあるけれど昔のようにインチ4分3といつてコシと同じ高さの襟ね。

芦原 そうですね。ウェーリントン型いうなんか、今も昔も同じ番型いうのなんか、今も昔も同じ番型いうのなんか、今も昔も同じ番



号で売つてますからね。世界のパテントになつてるわけですね。

竹中 型がかわらん言うことはイギリスの保守主義ですな。

芦原 今から三〇〇年前にはシルクハットにダービーハット、いわゆる山高帽子というのは全部舶来品でしたな。子供の頃やつたけれど、小学校の校長や村長いうたら必ずかぶつたもんです。

竹中 冠婚葬祭には必ずかぶつてましたなあ。ひどいのは紋つき袴姿にあの山高帽。しかしあれはか

ぶる時と場所柄を誰かが間違つて伝えたと思うんですよ。以前イギリスへ行つた時の話ですが、街を

歩いてる人が、みんなかぶつててゐる所はなかつた。

竹中 イギリスにとって日本はええ得意先やつたやろな（笑）

小林 山高帽が間違えられて入つて来たと同じようにあのモーニングコートも正式な礼服と考えられてるのはおかしいですね。テールコートが正式で、モーニングは略式なんですよ、ほんとうは。

竹中 日本人は足が短うて曲がつてるのでモーニングのたて縞のズボンはいても以合わんね。今の若い人が体格もようなつて脚も長うなつたら着てもいいですよ。そやけどイギリス人位でしょ、モーニングを着る国民は。この間のケネディ大統領の葬式の時でもケネディの弟さんたつた一人やつた。彼は皆ダークな背広ですね。前のバーリング元師の時は誰も着てなかつた。

芦原 なかなかよう観ておられましたね先生。

竹中 日本人はもつと背広を作るべきですよ。背広一〇着作つてはじめてモーニング説らえるのがほんとうですね。三着の背広をきり舞いさせておいてモーニングはちゃんと持つてゐるのはどう考へても可笑いな（笑）洋服屋さんもモーニング作るというお客様にはアドバイスしてやるぐらいでないとあかんな。

渡辺 いやあ、どうも（笑）しかしほり、モーニング作らはるお客様

が多いんでしてね（笑）
芦原 そら洋服屋さんとしては儲けたいとこですものね。

小林 デパートのショーウィンドウに飾つてあるモーニングと、下に着せてあるひだつきシャツの組合せも正確に言うと間違つてます。ひだつきのシャツはタキシードにもつていくもんなんですがね。

高須 その点婦人ものは決まつた礼服いうのがなくて、気は楽です。

日本一

おしゃれの上手な神戸っ子

小林 婦人ものは楽しいな、ヴァラエティがあつて。

高須 この頃はフランス品が主ですが、イタリアファッショングも入つて来ますね。

小林 婦人服でも着る場所と時を間違がつた着方をしている場合はあると思いますよ。例えば一番いい例が、新婚旅行の服装ねこの間九州へ旅行した時、沢山のかかとの高い靴をはくんでしようと高須 セーターを着てスポーツティにできんもんでしょうかなあ。

竹中 私もよう思うことですけど和服の場合、訪問着いうたら猫もシャクシも真白けや。個性もなんにもあつたもんやない。あれは男性から見ても面白うないわ。

芦原 でも裏服を着ると女性はきれいに見えますな。スッキリとしてね。

小林 裏服の女のは最高です

高須 白と黒の美しさといふんでしょうな。

小林 フランスの女性が黒を好んで着るというのも、黒が女を美しい見せるいうことをよう知つてのことやろか。

竹中 まあ、むこうはカトリックの影響で“抑える”という宗教心があるんでしようがね。日本でも面白い話あるんだつせ。尾形光琳の時代ですけど、京都の中村屋いう呉服屋のおみさんが、衣裳コンクールに出るというので光琳にデザインを頼んだところ、何も考えることはない、白と黒の紋つきで言われたとうりにしたところ、等賞や。昔でも衣裳くらべなんていうのがあつたんですね。

しかし、洋服の着こなしについては、神戸の女性はうまいね。芦原 たしかに神戸っ子はおしゃれ上手といえますね。日本一でしょうね。東京や大阪の人は自分に以合つても似合わなくとも、流行やいうと飛びつく傾向があるようですね。神戸の女性は自分の個性にあわせて着こなしているところがいいんです。

高須 うちのお客さんで、ラベンダーか紺ぐらいしかお召しにならない方がいらっしゃいますが、すべてアクリセサリーも統一なさります。それで二年か三年に一度少し色をお変えになるんですが、そうなると大へんですよ、アクリセサリーすべてのカラーリーを揃えるいうことになりますからね。

小林 たしかに自分個有の色をもつてゐるということはすばらしいことだと思うね。

商売のしにくい神戸

芦原 こんな風に関西の人の目は高い。輸入品に接することが多くて、自然にそらなるんでしょうね。

だから神戸という土地は商売しないんですよ。とことんまで値打ちがあつて安いもんではないと客は買わない。特殊な業態のダイエーとか星電社、それに舶来品ではミッチャンが大阪や東京にもなく、神戸独自のものであることも面白い現象や思うんですが。

竹中 関西、特に神戸には地道な生活をしょうという心がまえの人が多いということじやないですかな。

小林 それにしてミッチャンは当りましたな。フランスの一流の香水でもちゃんとケースに入れて飾つてある、大したものですよ。

まあ大体がそら値の高くないものばかりで種類も多いようですが、大阪からも買ひに来る位ですからえらい人気ですね。

東京ではデラックスな舶来品店がありますな。友達がやつてた店へ時折行くんですが、この人どうかなど思ふ様な買ひ方しますね、東京の金持いたら。なんでもかで

も高かつたらええねんから。

芦原 今はもう亡くなられた電通の吉田社長という人も舶来品の好きな人で、店へ入つて来て、あれに一〇個ぐらいの買ものはいつも

のことでその品物を又すぐ人にやつてしまふことでも有名でした

よ。吉田社長が亡くなつたので、

店はええお客を失うた言つて嘆い



美しさを創る…

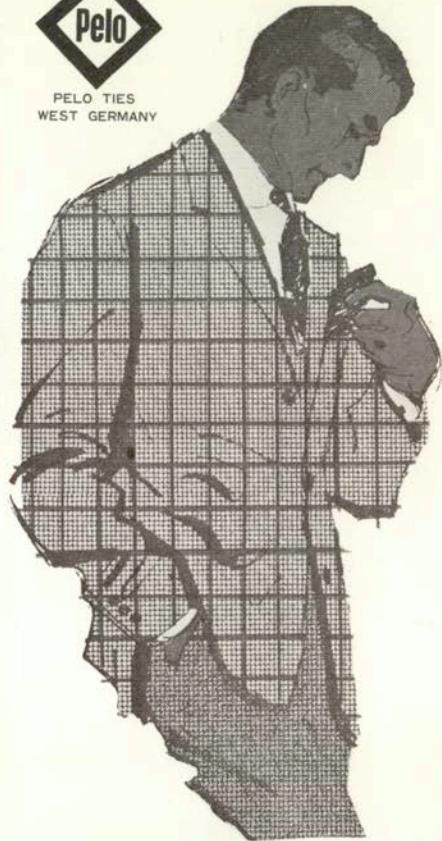
アスター・ニュートン

トア・ロード③1818

51



PELO TIES
WEST GERMANY



ネクタイの専門店

元町バザー

神戸×元町 TEL③1401

楽しいピクニックにドンクの味覚

フランス菓子
ドンク

センター街角 TEL (39)5481～3

春だ！
ビールだ！
乾杯！

三神ビル屋上ビヤガーデン
神戸・生田警察署前③5520

ビヤホール & レストラン

-1-・ト-+3-

神戸・三宮大丸山側③1422・6457

てるそうです。

竹中 人にやると言うのは、社長としては色々な意味もあったでしょ。うね。

—この人こそ見上げた舶来爱好者といえる方をご存知ありませんか。

竹中 つまり模範的な舶来爱好者ということです。自分の商売にのせるためとかいうのではなく、ほんとうに外国品の良さを認識して使つて、それが国家の向上にも役立つたというような人こそ見上げたもんです。

小林 それにはやはり外国で暮らしたことのある人の方が理解が深いのではないでしょうか。

竹中 神戸ではこの間亡くなられた西村貫一さん、あまり表立った人じやなかつたけど、小林定夫さん。決して無茶な買ひ方はしない人達です。それに明治の西園寺さんも。戦後、京都にある西園寺さんの別荘へ行つたんですが、今は

京大教授の会合所になつてゐる所ですけどね。西園寺さんのお部屋い

うのが十二畳と八畳の間でなんと桐のタンスが四棹あつた。一棹に五段引出しがあつたとして二十段の引出しにぎつり和服がつまつてました。洋服の数も大したもん

だと思ひますよ、おそらく。衣裳もちですが、いくら金に糸目はつけない身分とはいえね。

セレクトされる神戸の舶来品

—今後の輸入品の見通しはどうでしようか。

芦原 自由化自由化いますけどこれから入つて来る舶來もん相当高うなりまつせ。といふのは三五

%の保証金問題もありますし。

小林 現在、歐州のインフレといふのはたいへんなものでね。フランス、イタリアでも労働賃金の大巾値上げでこたえてるんですよ。

原価で大体5%アップでもねうですね、毛織ものの場合でも年間5%ずつ上つてます。

小林 いわゆるアドケーションがなくなつたということと自由化で競争がはじくなつたこと、従つて小売價格は下がらないかんと思うね。輸入屋のマージンは減るんですね、ほんとうのこと申しますと。

竹中 しかし、洋酒は下がつてゐるところがいますか。

小林 洋酒は安うなつてもいいでしよう。原地の四、五倍もするんですからねえ。

渡辺 でも一流品で名の通つてゐるものはやはり高いでしょ。

芦原 えゝ、ヨニーウォーカーの黒ラベルなんか、あちらで買つたら安いのに日本じゃ一万円もするんですからねえ。

渡辺 明らかにエイジメントのマージンですよね。洋酒類は自由化になつても今までと変わらんのじやないかということですね。

小林 ところで、これから輸入品は、需要者が選んで決めるいうことです。神戸の舶来品はますますセレクトされるでしよう。

芦原 の方でも先年ネクタイでイタリー製のものを入れたんですけどが好まない、売れない、だから業者側としても扱わなくなる。自然淘汰ですかねえ。これは他の業種でも言えることやと思ひます。

竹中 日本ではカメラやトランジスター・ラジオをどんどん輸出しましようや。

ピンク・コーナー



チョコレートのコマーシャルに出て、食い氣一方かと思われていた加賀まりこちゃんが、今では躍映画界のスターダムにのし上がつてしましました。しかも、それがオジサマ族をコロリリ参らせる悪女役の第一人者? というのですから、とんだ飛躍ぶりです。さて、悪女」というのは文字通り「悪い女」と解説してしまえば、味もそっけもありません。現在映画やテレビでもてはやされてゐる「悪女」は、なかなかニュアンスがあつて、文字で現わすのはむつかしいのですが、しいて言えば、まず美しくてかあいいこと、そして小柄であることが大切です。それにどこか神秘的な魅力をもつていてること。昔の「小妖精」といつた言葉がピッタリとするでしょう。だいたい「悪女」流行の本場はパリで、ブリジット・バルドー やジャヌヌ・モローが中年の紳士を悩殺しはじめから、日本にもようやく「悪女時代」のキザシが見えて来たといふことでしようか。この悪女たち、欲望を追及することに急で、金にエンのない若い男性には目もくれません。そこでオジサマ族がねらわれるわけですが、オジサマ族の方もグラマー美人よりは「悪女」の方がお好きなようです。小柄ですから、体力の衰えたオジサマ族でも、どうにかペツドまで抱いて行けますから。

菅原 そうですよ、カメラやラジオ、電気製品ね、これはもう日本は国際的レベルですよ。

小林 そのラジオでちょっとゆかいな話があるんですけど。この間ミラノへ旅行した友人の話ですけどね。

ソニーはソニーと言つてトランジスタラジオを売つてゐる。ソニー一かしらと思つて近よると、相手はラジオを隠すんですね。よう見るとソニーはソニーのイミテーションやと分つたんでもびっくりしましたということなんですね。（爆笑）

ソニーも偽ものが出来るようになればもう大丈夫ですね。

竹中 歌でも替え歌が流行するようになると言えますもんねえ。（笑）

小林 香港みたいなフリーの港ではもうどんな商品でも売ってるんです。しかし香港独特的綿製品と香港フラーがあることで経済のバランスが取れてるんだから、日本でも、日本のいものはどんどん外国へ出してる、どうしても日本じゃ作れんものを輸入するといふことがこれから貿易の自由化を育てるに経済やと思いますね。

竹中 そらそらやな。

小林 香港ではパンコックからマッチを輸入して使つて、小さなマッチでね。それで沢山の余った人手はボタンつけとかハンカチのエンブロイドね、それから香港フラー、縫製品にまわすのです。日本より加工費が安いんです。縫製品では世界のマーケットの六〇%をもつてゐるんですよ。日本からセーターやカーデガムを送つて、スパンコールをつけて送り返してくれるんです。日本で売つてあるスパンコールのセーターなんかでいい

ものはほとんど中国で加工されるんですよ。

竹中 それでは、中国くさいんやね（笑）

最後に舶来品を買うについてのアドバイスをお願いします。

竹中 そうやね、石けんは肌に合わんのがありますから気をつけて選ばんときまへん。

菅原 それと化粧品もよほど注意して、人が使ってみて良かつたと言ふものを使うのが安全でしょ

う。外人と日本人の肌はちがうんですね。コティの香水なんかは香りが甘くてあまりきついことないで、我々日本人向きといえるでしょ。しかし香水だけはフランスにはかないませんな。原料のちがいでしょうかねえ、歴史のちがいというものでしようかねえ。

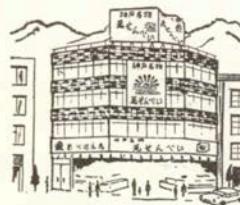
小林 しかし、何もかも国外品でないといかんことはない。ただ衣料の方面でいいますと染色の技術と織物の風合、この二つがまだどうしても追つかけんのです。ネクタイの分野でも、西ドイツのあのすばらしい染色はまねできないんです。それは工場の設備の問題ですね。かり一つないエアコンディションでいつも同温度を保ち得る工場が必要です。そうしないと鮮明なプリントは出来ないんです。その設備がまたたいへん高くつくそうです。

竹中 結論としましては、要るものは買おう、そしてその分は働いて稼ごうということになりますからね。それと、舶来品を盲目的に礼な」と平手うちを食うぐらいが関の山だったに違いありません。

なぜつてリングをズボンのポケットに入れるふくれ過ぎますからね。そこへ行くとパイプは手ごろです。とがめられても、パイプなら恥をかくのは女性の方ですか

ピンク・コーナー





新菊水總本店ビル

地上4階・地下1階
昭和39年12月完成予定
(現在地ヨリ 100米南)

創業明治元年
菊水總本店

神戸楠公神社前 ④1310・1382・9874

神戸っ子の味覚に
ぴったり、又平の早駒れ鮓

□又平クイズ□



私が又平です
毎度ありがとうございます

▶問題 「又平」という家号を命名していました。
だきました。その人の名前をお答え下さい。

▶ヒント 歌舞伎の役者で、テレビで人気のある林与一のおじいさんです。

▶賞 品又平のバーモンド栄養食レモン酢と蜂蜜で味附けた「早駒れ鮓」1折(2本入り)を10名さまにさし上げます

▶官製ハガキに答えと住所・年令・職業を明記。4月30日〆切。発表は5月号の神戸っ子誌上「又平」の広告ページです。

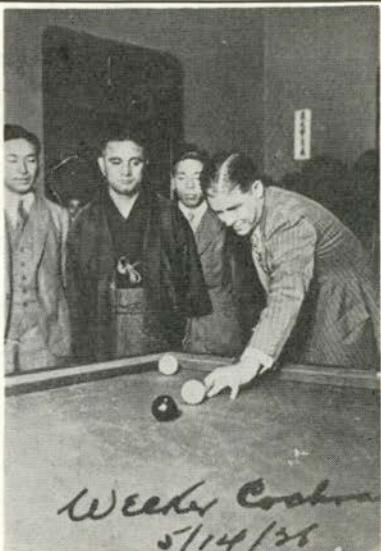
鮓の又平

神戸市生田区下山手通2丁目315

電話・三の宮③0935

神戸遊戯誌

8



町の玉突き屋は昔も今も変わりなく、明治、大正時代から昭和へかけて四つ玉の玉突き台が二台か三台、せいぜい四、五台のところが多く、中には、うち一台ほどボーカーラインのところもちょいちょいあった。ただ、大正早々にアメリカから帰国したプロの山田浩二が東京の丸ビルの八階に十台の撞球場をつくったのが、『マンモス撞球場』らしい面目を誇っていた。しかも、大抵のところはゲーム取りを置いていたのに、ここでは天井にソロバンをつけてゲームをやりながら自分で数子を入れる方法だった。だが、玉突きはやはりゲームとりの声のリズムに乗つて突く方がよいらしく、当時はどこの店にも若い女のゲームとりがいるのが普通になつて、丸ビル撞球場のソロバン・システムは間もなく立ち消えになつた。そもそもとゲームとりがいたのは日本だけで外国には例がないわけだが、やはりうまいゲームとりがカウントをと

つてくれる方が、ゲームの調子が出てくる、という人々が多いところからみると求人難のためにしだいにゲームとりが減りつづける今日の玉突き屋の窮状が惜しまれる。ゲームとりなしで客同士で勝手に突くノーカウント・システムが最近ふえているが、将来人手ができればやはりゲームとりが必要だろう。昔のゲームとりの中にはなかなか優秀なのがいて、女の子でも二百点ぐらい突く腕前の方がいたが、初心者などにはなかなか親切に教えてくれたものだ。

明治はもちろん、大正時代になつても町の玉突き屋へ来るお客様の大部分は和服で、洋服は一割か二割だった。高ゲタをはいたり、角帯、前かけ姿の客も多かつた。ビアードに備えつけのタスキがあつて、まるで昔の仇討ちのようなタスキ掛けの客の試合ぶりが昭和初年ごろまでみられたのも面白い思い出である。当時すでに五百点

ビリヤード

②

青木重雄

以上を突いて先生株だった石坂幸三郎氏が初めて洋服をつくったのが、神戸海運俱楽部で活躍していた大正七、八年ごろ（氏は二十三歳ぐらい）だったそうで、それまでは角帯、前かけ姿だった。そして、石坂氏のようなコチ格は、攝球場では“玉ボーキ”と呼ばれていたが、地方へ行つて教える時はハカマ姿で出掛けて、名前もことさらに“石坂師範”と呼ばれた。

その頃、「玉突き百になるまでに借家一軒とばす」ということがよくいわれていた。酒や女遊びと違つて見かけはいたつておとなしい球戯だが、百の腕前になるまでにはかなりの年月がかかる。その間に借家一軒分の金額千円ぐらいは使つてしまふ、といふわけだ。だが、玉突きに入れ揚げて身を滅したという話を今日まであまりきいたことはないから、玉突きはほかのバクチに比べると、やはりスポーツのにおいの方が多いようだ。まして、当時は第一次大戦後の未曾有の好景気時代のことだ。とくに神戸海運俱楽部や日船、神港俱楽部などでビリアード熱をあげていた船主や財界の人々にとっては、そんな経費など問題外だし、なかには自邸に玉突き台をおく人もふえていたから腕はメキメキ上達した。名士の中にもプロ級の人々がかなり生まれた。金を湯水のごとく使ふう。大好景気ムードが玉突きだけでおさまるはずはない、ゲームが終わると勝者は一緒になつて、人力車をつらねて花隈や福原へ出かけて豪遊することもしばしばだった。

海運俱楽部で三日間にわたるビリアード大会が開かれたことがあつたが、岡田信一郎氏（岡田汽船株式会社専務）がみごとに優勝して三十もの賞品を獲得した。ところが、この後がタイヘン。参会者一同が帳場から二十台以上の人力車をつらねて福原の松浦橋へ出かけて飲めや歌えの大散財をやらかしたうえ一泊したというから、今から思えば全く夢のような話だ。

ビリアードが日本で初めて盛んになったのは、もちろん東京だったが、関西では外人の多くいた神戸がやはり大

阪より早かつたようだ。居留地の神戸俱楽部などすいぶん早くから玉突き台を備えていた。また、大正時代、アマチュア競技も大阪より神戸のメンバーの方が強くて、阪神対抗試合が時々催されたが、ほとんどの神戸側が勝つものだ。大正から昭和へかけて、玉突きはいよいよ盛んになって、サラリーマン、商売人、学生などあらゆる人々が楽しんだが、同時に各クラブでも町の攝球場でも、ブロやアマの試合が盛んに行なわれた。会社の対抗試合もよく催された。日華事変の前ごろ、川崎車輛に勤めていた坂口千雄氏（現在、川崎興産株式会社専務）の話だが、ある時、東尻池の川崎航空の連中と組んでダンロップのビリアード組と四つ玉の対抗試合を催すことになった。五名づつ組んで、双方の持ち点は三千点だった。試合が始まつてしまらすると、川崎はダンロップに早くも千点近くの差をつけられた。ところが、奮起一番した坂口氏が大奮闘の末みごとに八百六十四点を突き切つたため、川崎組はたちまち氣をよくして、みるとみるうちに勢いをもり返して勝つてしまった。あとでおきまりの懇親会となつて花隈へ出かけたが、花隈行きは試合前からのダンロップ側の提案だつただけに、この番狂わせは川崎組にとって笑いのとまらぬ痛快事だったそうだ。とくに、持ち玉三百点だった坂口氏にとって、八百点以上を突いた離れわざは一生忘れられぬ思い出となつた。

だれもかれもが玉突きに熱中していたといつても、行き過ぎで、仕事などの邪魔になるのを心配する“警戒ムード”もあつた。これも坂口氏の述懐だが、百五十を突いていた頃のある日、川崎車輛の上役だった川崎芳熊氏（当時、労務部長）に、うつかり「玉突きが好きです」といつたら、「極道者や」といわれた。ちょっとシニンとなつていたら、當時やはりビリアードをやつていた鈴谷正輔氏から「そんなこと気にするな」と慰められたことがあつたそうだ。

神戸うまいもん巡礼

赤 尾 呑 子

日本料理の巻

いぜんからトリ料理は名古屋という声が高い。その理由は、濃尾平野が鶏の大きな生産地だからである。神戸は、背後にそれほど大きな生産地をもたない。が、鶏が京阪神の市場へ入るいわば表門のようなところだから、いきおい、いい鶏を集めやすい。

大、小とりませて数多くのトリ料理店があり、それ相当な品を提供しているのは、こうした背後のせいだと私は理解している。

トリ料理にも、メニューはいろいろある。

しかし、水たきには、とくに秀抜な店がない。上位に焼

トリをおくのが、妥当といふものだろう。

大正元年の創業、つまり五十年あまりの歴史をもつ、

神戸の元祖、「八榮亭」(新開地、松竹座北東北に)が

古く、しかも風格がある。数年前死んだ女太夫の店主、八重さんの名を店の名にした。かつて新開地は神戸の盛り場を一手にぎって牛耳っていただけに、ここへ集つてきた人たちがこの店の有力な客だねでもあつた。店の構えやたたずまいはその昔とほとんど変っていない。ご

くさくで、庶民的、荒っぽい感じといつていいくらい

である。(最近のスマートな新型焼トリ屋にくらべると)み、きも、かわ、すり各一人前四串で一〇〇円。ミック

スした一皿でも同値、備長(ひんちょう)の炭火で焼

く。炭が八分目へったところで、足すというしきたりも

昔のまま。カンどころのタレは醤油と調味料二種類をまぜてあるのだが、こいつは秘伝で明かさない。シニセは、よくしたもので、タレひとつにしても、なぜかびつたりと舌に乗るから不思議だ。

もも焼きは、タレをつけたつけ焼きと、塩焼きにしたレモンをふりかけるのと二つあるが、いずれも二〇〇円。秋から冬へは、すすめとうすらが登場、醍醐味が満喫できる。すすめは四羽二〇〇円、うずらも同値。八重ばあさんが研究して考えたといふとり丼(二〇〇円)も格別な味わいがある。上、下に同名の二店、また三宮、大阪北にも同名店があるが、四人の姉妹が、のれんわけをして各店に分かれているわけで、発祥は新開地のこの店から。味や秘伝のタレはむろん譲りうけている。

新らしいところでは、店歴十年の「土井」(生田区三宮一丁目、ダイエー西)がよい。北側に新店を開いたので、南、北に二店ならんだが、主人は、前身が日本料理の板前さんだけに、店せんたいにさっぱりしたフンイキが流れている。多少ごてつき、べついたあの焼トリ屋情趣がすきな人には、すつきしすぎて、やや頼りないかもしれないが、ことさら昔型に抱泥している必要とないのだから、これでいいのだと私は思う。二店あわせて、六十人は入れ、二階に座敷もある。広い。

タレは、醤油にミリン、砂糖、氷砂糖を使つて、やや

甘味が勝ち、トリとまつたりした合い口。み、きも……
ずりのほか、かわには、頸部のかわと殿部の脂かわの二
種、脂かわの方は、ぐつと脂っこい。ひき肉ときくらげ
などをミックスした串ざし団子のような「みんち」もあ
つて、その工夫ぶりも目につく。一串各三十円。私は、

とりわけ、きも、かわ、手羽先（手羽先のみ一串三五
円）がすきだが、大根おろしとざつくり皿に盛りげたキ
ヤベツが、前においてあって、それで自由に口なおしで
きるセンスのいい配慮も気に入っている。

もも焼き（二五〇円）から揚げ（二五〇円）焼鳥丼
(一二〇円) 鳥茶漬（一五〇円）冬場はうずら（二五〇
円）すすめ（一〇〇円）もあるが、家族連れがいたって
多い。

十数人の女店員が、忙しく立ち働き、焼き手にもなつ
ている。評判がいいだけにマス・プロにとかくつきもの
の味の低下を来たさないよう、この際くれぐれも望んで
おこう。

ついで店歴七年、二十数人で満員、決して大きな店で
はないのだが、「美美」（国鉄三宮駅地下道秀味街）はち
よつと乙な店である。板前は、早大を中退、三十余年の
経験の持ち主。焼トリは、すすめのほかは一串二十五
円。開店いらい値段は、据えおきのままである。もも料
理は二〇〇円から。トリ飯は一〇〇円。もものホルモン
風のみぞ焼き「勘平」や身の酢のもの「お軽」といった
異色の一品もあるが、どうも板前さんがこみいつけた細工
が得意らしく、そんな趣味を持ちあわせる人には、えが
たい店のひとつといえるだろう。店がたてこむ時には、
サービスはよろしくない、そのつもりをしていた方が変
な誤解がなくていいであろう。



写真上は清潔な「土井」の店内・下は「八栄亭」の門構え



ホス・ピタル紳士

文・竹田洋太郎
え・鴨居玲

最近、紳士、非紳士を含めて最大の話題といえば病気であり、ことに癌である。癌の専門医が癌で死去され、有名な文士がつきつきと癌に侵されている。さらに煙草が肺癌の原因という米国公衆衛生局の発表などもあって紳士も幾分心の動搖はかくせない現状である。

その他、紳士には特有の病気たとえば痛風、糖尿病、高血圧などがあつて、種々の健康法、治療法を試みる人も多い。また自動車による事故なども頻発しているので紳士が入院するハメに陥ることも少なくしない。

一方、紳士はときに「人間ドック」にはいつて各種の検査による診断を求めるものも多い。そこで入院した際の紳士の一般的心得をのべてみたい。もつとも会社の経理状態が悪化したため、とか、労組がうるさいので、とかが眞の理由である入院は紳士のすべきことではないから、ここではのべない。

まず紳士にとって入院は人生のことなき休息であり、次の活動の準備期間である。これを善用することは紳士にさらに磨きをかけることになる。またその間もさまざまに思いをこらし、人生を楽しむことである。

その一例として次のような方法が推賞される。

入院後最低三日間は絶対「面会謝絶」とすること。たとえヒヨウソウの手術で入院した場合も人間ドックの場合もある。その場合、家人や会社へ「絶対」であることを強調する。すると会社の同輩、下僚間で必ず動搖がおきる。「社長はそろそろダメなんじゃないか」とか

「あのはいい人だった」とかいう奴が出ててくる。退院後そういう連中の期待を破ることが大きな楽しみの一つである。また、見舞いと称して点数かせぎをする連中を遠ざけることも健康によい。

次に、入院中はできるだけ病人らしくすることである。頭髪もヒゲものび放題だと、その後見舞いにくる連中に前記の期待や確信を深めさせられる。(世間の常識に反して、眞の紳士は無情なのである)

退院後、一般には病気を極めて大げさにいう人物と、全然大したことなかったと軽くいう人物に分類されるが紳士はこのどちらにも属してはならない。紳士は一切病状についてのべないことである。そうすればよけい他人は「あの病気はやっぱり人にいえないほどのものだ」と判断する。そうさせておいて、できるだけ長生きするくらい意地悪い楽しみはないのである。

紳士は会社の書類やそれに関係した書物を病院に持ち込んではならない。持ち込む必要がある場合はかくして置くことである。

また、見舞品は、どうせ果物籠くらいが多いが、それは病室に並べておくこと。すると貧弱な見舞品をもつていった者が困るからである。

病室においては病室においを消すためオードコロンをまいたりする人があるが、そのような場合は家の仏壇から香りのいい線香をもってこさせてくゆらせる。見舞客がドアを開けや否や「とうとう」と思つたら効果があがつたことに

なる。また近くの病室の患者にも相当のショックを与えることができる。(病院から禁じられることがあるから注意)

意地悪が紳士の存在価値であることはしばしば明らかにしたが、入院中、医師と看護婦に対して意地悪は行なつてはいけない。というのは、病床にある人間のする意地悪はしているが、医師や看護婦は、やろうと思えばどんなこともできるのだから勝負にならないのである。ただ一つ、枕元にドイツ語と英語のグラフ雑誌を二、三冊置いておくと、お医者さんの方がカルテを書いたりする場合妙な具合になることもある。

家族の看護は最少限に止めること。現在原則として完全看護の態勢がとられているからもあるが、家族があまり病室にがんばっていると、バーのマダム、ホステスといった美人の見舞客がトタンに少なくなる。夜しか見

たことのない彼女たちを昼見るのは健康恢復に大きなプラスだといわれている。

さて充分健康恢復し仕事についた時は「人間ドックで見てもらったら三十代の身体だそうだ」などと決していってはいけない。黙つてうつとおしい顔をしていること、これが紳士の「平常心」で、病気の話題は紳士の間のみですることである。だが自分の病気を話してはいけない「自分の入院してたとき、あなたと同じようなことをいつった人がいたが事後はよくなかつた。だがあなたは大丈夫だらう」とかいって入院の経験をタテに相手方にショックを与えることである。

註: 「ホスピタル」でなく「ホスピテル」なるものが近くできるらしいが、原則的には同じと考えてよい。ただホスピテルの方は入院料が恐しく高いだけである。



上図は小生画像。左足のギブスをご覧あれ。入院既に一ヶ月、ホスピタル紳士として多くはかたりたくない。

スネにキズ持つ男

レイ・カモキ